

授業科目 日常生活活動学実習Ⅱ（生活技術代償法）

【担当教員名】 今西 里佳、能村 友紀		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 生活動作や行動に支障をきたした対象者の障害を軽減させるための代償法について、基本的知識および技法について学習する。 障害者の機能を評価し、適切な福祉用具、装具を選択し、実際の作成技法について学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 福祉用具それぞれの種類を大別し、その名称を述べるができる。 2. 大別した福祉用具それぞれの重要性を説明できる。 3. 福祉用具それぞれを障害や環境、利用目的に応じて適切に選択できる。 4. 福祉用具それぞれの注意点について説明することができる。 5. 簡単な自助具を作成することができる。 6. 脊髄損傷の残存能力について説明することができる。 7. 脊髄損傷のADL評価と訓練について説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脊髄損傷のADL			6, 7	実習 能村
2	脊髄損傷のADL評価			6, 7	実習 能村
3	脊髄損傷のADL訓練（1）			6, 7	実習 能村
4	脊髄損傷のADL訓練（2）			6, 7	実習 能村
5	脊髄損傷に対する福祉用具			1～4	実習 能村
6	頸髄損傷に対する自助具作成（1）			5, 6	実習 能村
7	頸髄損傷に対する自助具作成（2）			5, 6	実習 能村
8	脳血管障害のADL			3	実習 今西
9	脳血管障害のADL評価（1）			2	実習 今西
10	脳血管障害のADL評価（2）			3	実習 今西
11	脳血管障害のADL訓練（1）			3	実習 今西
12	脳血管障害のADL訓練（2）			3	実習 今西
13	脳血管障害に対する福祉用具			3	実習 今西
14	脳血管障害に対する自助具			5	実習 今西
15	家屋改修			3	実習 今西
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ADLとその周辺 第2版		伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,000円
	ADL 第2版―作業療法の戦略・戦術・技術		生田宗博	三輪書店	2005・4,725円
参考書	片麻痺能力回復と自立達成の技術		生田宗博	三輪書店	2008・5,200円
	脊髄損傷マニュアル リハビリテーション・マネージメント 第2版		神奈川リハビリテーション病院 脊髄損傷マニュアル編集委員会	医学書院	2004・5,250円
	バリアフリーの生活環境論第3版		野村みどり編	医歯薬出版	2004・6,800円
その他の資料					
【評価方法】 (1)出席2/3以上 (2)期末試験60点以上 (1)でかつ(2)の場合合格とする			【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加すること		